

問 30-1 従事したくない理由（自由記載）

- 体（腰）に負担がくる（他 4 件）
 - 暑い・寒い・訪問先が汚い（他 3 件）
 - 患者・家族・多職種との連携やコミュニケーションが難しい（他 3 件）
 - 患者との意思疎通が困難な時（他 3 件）
 - 休憩時間が取れない（他 3 件）。
 - 誤嚥をさせてしまうかもしれないから（他 1 件）
 - 自信がないから（他 1 件）
 - 患者からの暴言、暴力（他 1 件）
 - 心が折れる（他 1 件）
 - 勉強不足（他 1 件）
 - 負担が大きい（他 1 件）
 - Dr についていけない（他 1 件）
 - コロナ感染が疑われるため（他 1 件）
-
- 患者様ごとに身体的状態にバラつきがあり、臨機応変に対応出来ない
 - 気を遣うので
 - 患者様がお亡くなりになられた時は、寂しい気持ちになります
 - 訪問を始めた時、重症な患者さんばかりを診ていて自身のスキルの低さを痛感したため
 - 患者さんの全身状態に不安を感じるため
 - 施設からの治療依頼の内容がわかりにくく、準備物にこまる。
 - 他のスタッフよりも業務時間が増えるから
 - 訪問診療用の器具や荷物が多い。重たい。
 - 口腔ケアが行える環境、道具が揃ってない
 - 治療がなかなかうまくいかないケースが多い
 - 外来診療に比べリスクが高い
 - 診療所内での仕事のほうがやりやすいから

問 31-1 トラブル内容（自由記載）

- 必要な診療器具を忘れた（他 4 件）
- 診療機器の故障で治療ができなかった（他 1 件）
- 車をぶつけてしまった。
- 訪問車の脱輪
- 交通事故
- 訪問時間に遅れた

- 家族と連絡が取れない（他 1 件）
- 家族や施設スタッフの理解が得られない時など。

- 補綴物（義歯）を誤飲（他 1 件）
- 指をかまれた
- 排せつした
- ベットの下に落ちていて失禁していた（在宅）
- 認知症の患者で印象材を食べてしまった。その後、排便で印象材を確認した。
- 訪問時に意識消失があった
- 急に嘔吐反射が起こった。
- 誤嚥
- かんしゃくをおこした
- 本人の拒否のため進められなかった
- 患者の暴力など
- 認知症の患者さんに、診療内容を理解してもらえない
- 訪問に伺ったら患者さんが家の外を徘徊していた。

- 治療方針について（他 1 件）
- 治療の説明不足、診断ミス
- お金に関する事
- 感染リスク
- ケアマネさんとうまく連携が取れていなくて、施設の訪問に伺ったらデイサービスに行かれていた。
- ブラッシング時、出血が止まらなかった。
- 学生の臨床実習での個人情報漏洩

問 32 今後、歯科衛生士が歯科訪問診療での業務を行うために必要な研修（自由記載）

- 実習・実地研修（他 10 件）
 - 全身管理と口腔健康管理の知識・技術の習得（他 9 件）
 - 医療保険・介護保険の仕組みと請求について（他 8 件）
 - 全身疾患と服薬、口腔内との関連性について（他 8 件）
 - 緊急時の対応（他 4 件）
 - 摂食嚥下訓練や口腔機能訓練・全身疾患の知識、実技（他 3 件）
 - 多職種との連携や指導方法について（他 3 件）
 - コミュニケーションについて（他 2 件）
 - ミールラウンドについて（他 1 件）
 - 体の不自由な方に寄り添う診療や対応法について（他 1 件）
-
- 認知症や精神疾患についての理解
 - 関連職種との研修
 - 基礎疾患等全身状態についての知識。栄養について。
 - 義歯や歯があっても飲み込みができない人をふやさないために元気のうちの予防方法
 - 嚥下訓練・唾液腺マッサージなどの研修
 - 今、訪問診療も高齢者や脳梗塞後遺症等だけでなく、多様化してきているので、これら以外の症状・病気の知識が必要
 - 要介護レベルに応じたケア方法.認知等で指導を覚えられない方への対応
 - 実践に則した歯科訪問診療の知識・技術
 - 訪問診療を希望されている方の全身状態や病気・介護のレベルなどの専門的なことを学べるような研修があればいいと思います。
 - 臨床のできる DH と訪問専門の DH との交流.はじめの一步のわかりやすい内容・すぐれた指導者
 - ケア方法以外に体位変換や車イスからの移動方法など
 - 腰痛を防ぐための体操など
 - ターミナルケア
 - ケアマネなどの支援連携の方法。
 - 基本的な体位交換など患者さんに苦痛を感じさせない口腔ケア
 - 嚥下機能について
 - 施設の入居者の口腔衛生管理体制に係る啓作の作成
 - 摂食障害を誰につなげるか
 - 症例に対して具体的なケア方法などの振り返りができる研修
 - 迅速かつ効果的な口腔ケア
 - 介護の勉強が必要。例えば体位を変えたり車椅子への移動など
 - 患者さんへの気配り
 - 全身疾患や介護度別の機能訓練など

- 訪問介護の流れ。口腔ケアのやり方。各種公費の種類や内容を理解して対応できるか。
- 痰の吸引
- 診療室内と訪問先とでは環境や設備が違うこと
- 口腔衛生管理の手技や評価方法などの研修
- 色々な症例に対する口腔ケアの方法や知識の研修
- 歯科以外の病気の知識、介護現場への知識、理解
- 顎関節脱臼の制服方法
- 医科との連携、患者の状況を把握するための研修等
- 口腔ケア時のポジショニングや 口腔内観察時の診るべきポイント
- スクリーニング、アセスメントや管理指導計画などの評価の仕方
- 患者さんの対応、接遇マナー
- 全身疾患を知る事の重要性や口腔ケアが単なるハミガキになり、意味を意識せずに行う DH も多いように思う。ただ楽しく子供あつかいして行えば良いと思っている DH 多い。尊厳を大切に

問 33 歯科訪問診療に携わってよかった事（自由記載）

- 患者・家族に喜ばれた・感謝されたとき（他 19 件）
- ご本人やご家族の笑顔や喜ばれている姿がみられたとき（他 8 件）
- 学べば学ぶほど簡単でない事が分かった事。DH として全体を見て全身をみてかかわれる事
- 患者さんのプライベートな空間におじゃまし、会話の中で家族の方々ともコミュニケーションがとれ、お口の健康に携われることがとてもたのしい。
- 口腔内の不具合が解消又は改善され、患者様が喜ばれた時、たとえ自身は直接何もせず Dr のみの施術であったとしても、その場に携われて良かったと思えました。
- 患者さんのお口がキレイに保たれている。
- 施設の居宅での臭いが軽減したとスタッフから言われた。（口腔ケアをスタッフにも指導）
- 多職種の方々との直接的な情報交換・患者様、ご家族様とのかけがえのない関わり。
- ご飯をおいしく食べれるようになった
- 外来に來れない方へのお口のケアをすることができてよかった
- 生きる意味
- 100 点の治療ケアが出来るわけではないが、その方の必要となる存在になれる事がうれしい。
- 子供時代の習慣が口腔内に顕著に出る為、他の患者への反面教師として学べること。
- 口腔内のトラブルで困っておられる感謝さんの一助となれた時
- 全身疾患について勉強する機会が増えた
- 病院受診が困難な方にも医療提供できる。
- 「来てくれて本当に助かる。」と言っただけとうれしいです。
- 長年通院して下さった患者さんの最後をみとれた。御家族の想いをしる事ができた。診療所とのギャップが分かる。
- 多職種で関わって利用者さまの口腔内の状況を改善したと、食形態が UP した事。
- 口の中がきれいになっていくことで、ご本人が元気になれていく姿をみていくこと
- 悪かった方が良くなっていった時
- 毎日仕事をする事が楽しい。
- 他業種との連携一患者さんとそのご家族の方たちと仲よくなれたこと
- 家族の方の口腔ケアの悩みを聞き、その場で指導・実施できること
- 家族を含め多職種の方々と ICU について話せる
- 診療室に通えない方に対し定期的に口腔ケアを行う事により口腔内の状態が改善されたと感じた時
- 患者さんの生活背景を知ることができて良かったと思います。
- 患者さんの口腔内が訪問する毎に良くなっていくこと
- 患者さん家族の方に寄り添うことができる。
- 家での様子がよくわかる。家族の方とのコミュニケーションがとれる。
- 口腔ケアにより全身の体調が改善されたこと
- 口腔ケアを通じて信頼され、改めて「食べることができる」意義を学ばせてもらっています。
- ご家族と関わり信頼関係を築けたり、療養者の口腔状況がよくなったと喜んでもらえること

- 関わった患者やご家族によるこんでいただいたり、歯科の関わりによりおいしく食べれる様になって元気がでたなどの言葉をいただいた時は本当によかったと感じている。
- 患者さんの口腔の状態が改善し、体調管理の手助け出来る事
- 色々な年代の人達とのコミュニケーションや関わり方が身についた
- コミュニケーション能力が上がった
- コミュニケーションの取り方
- 高齢の家族への接し方が上手くなった
- 食事が摂れるようになり、元気になられた姿を見た時
- 要介護者の口腔ケア技術の向上と喜んで貰えること
- 全身疾患や介護度別の機能訓練など
- 自分の家族の介護時に役立てそう
- 訪問でしか得られない知識を身につける事ができた
- 色々な知識を得ることができた
- どんどん新しい知識が増えていく事。人と関われる事。とても嬉しい。
- 介護についてや介護保険、介護施設の理解が深まった（他1件）
- 介護保険の制度などを詳しく知れた。深く理解できた事で、歯科衛生士としての仕事の幅が広がった。診療とは少し違う雰囲気でも楽しくできる。多少のことでも感謝されることが多くて驚いた。
- 患者さんに、口腔の爽快感を味わってもらえたこと。
- 他職種との交流
- 患者さんやご家族からの感謝の言葉と、食べられなかった患者さんが食べられる様になった瞬間に立ち会えたり、口腔ケアを行った後、患者さんの表情がふわっと柔らかくなり、呼吸が楽にできる様になった時など、多岐に渡ります。
- 色々な人に出会い色々な情報を得られる。やりがいを得られる
- 口腔ケアをして良かったと言われたこと
- 本人様・ご家族様が訪問歯科・口腔ケアの大切さを感じて下さり、自分達を無条件で受け入れてくださる事
- 意思疎通できない患者さんや障害が1患者さんとの携わりかたがわかるようになった。口腔ケアも勉強になった。
- 多職種の方々が歯科について関心を持っていることが知れたこと
- 歯科訪問診療には、歯科だけでなく、さまざまな知識が必要と考えます。それらの知識を知り得たことは、歯科衛生士としての幅が広がったと思います。
- 自己都合で働ける
- 患者さんの健康維持に一役を担うことができる
- あなたが来てくれるのを待ってたのよ。とか、また来てね。など頼りにされ、喜ばれる。
- 患者さんとの関わりが楽しい
- その人らしさに寄り添えたこと
- 患者さんが、口腔内に関心を持っていただけました事。
- 同じ患者さんと長年付き合える

- 歯科では分かり得ない様な広い視野が持てた
- 末期まで、関わられて口腔ケアできたこと
- 15年間くらいメンテをさせていただいていた方なので、訪問診療する事により継続できる事が嬉しいです。
- 歯科診療所に来院できない様々な全身状態の患者様と関わる機会が出来ること、口腔ケアを通して要介護者等の健康管理に携われること
- 診療室よりも人生に対して深く考えさせられた
- 直接、人生の最後にかかわれたこと。
- 担当患者を最期まで関わられたこと。担当患者の家族の相談にのれること
- 患者の家族と関わりをもてたこと

問 34 歯科訪問診療に携わって嫌だった事（自由記載）

- 患者・家族の理解が得られない（他 6 件）
 - 必要である治療ができないこと（他 4 件）
 - 施設スタッフ、ケアマネと連携が取れない（他 4 件）
 - 患者からの暴言・暴力（他 4 件）
 - 訪問先が足の踏み場がないほど汚い（他 4 件）
 - 患者の口臭や訪問先の臭いに慣れない（他 4 件）
 - 患者の拒否（他 3 件）
 - 歯科訪問診療の理解が得られない（他 3 件）
 - 認知症の人とのコミュニケーションが上手くとれない（他 1 件）
 - 治療が難しい方への対応（他 1 件）
 - 患者からのセクハラ（胸を触られる）（他 1 件）
 - 訪問先にエアコンがなく、夏はとにかく暑い
 - 診療場所が狭くて確保できなかったこと
-
- 歯科医師と連携が取れない（他 4 件）
 - 時間が取れない、時間管理が難しい（他 3 件）
 - 業務時間の増加（他 1 件）
 - 長時間の運転を 1 人にまかせられる。
 - トイレに行けない
 - 診療所内で人間関係のトラブル
 - 書類が多い
-
- 自身の未熟さや限界を感じる（他 4 件）
 - ケアの体勢で腰に負担がかかるので辛い。（他 2 件）
 - 患者の“死”と向き合うこと（他 2 件）
 - 気持ちが落ち込みやすい（他 2 件）
 - 一人訪問での急変時の対応（他 1 件）
 - コロナにかかる可能性が高くなった